

IAIS 市中協議文書 「包括的枠組みに関連する監督文書の改定案」に意見提出

日本損害保険協会(会長：城田 宏明)は、保険監督者国際機構(IAIS)が2024年3月27日から6月27日にかけて市中協議に付した「包括的枠組みに関連する監督文書の改定案」に対する意見を提出しました。当該意見は、添付1をご参照ください。

1. 市中協議の概要

- IAISは、金融安定理事会(FSB)による承認のもと、保険セクターにおけるシステミックリスクの評価および削減のための包括的枠組み(※1)の実施評価等を通じて得られた教訓を検討することにコミットしている。これに伴い、IAISは、包括的枠組みの監督文書の一部を構成する、一部の保険基本原則(ICP)(※2)および国際的に活動する保険グループの監督のための共通の枠組み(ComFrame)(※3)の基準の見直しを提案している。
- 今回の市中協議は、主に以下を対象としている。
 - ICP 16(ソルベンシー目的のERM(統合的リスク管理))における流動性リスク、カウンターパーティー・リスクアパタイト、緊急時資金調達計画に関する基準およびガイダンス資料の変更
 - ICP 12(市場からの退場および破綻処理)、ICP 16および関連するComFrame資料における再建・破綻処理計画および権限に関する基準およびガイダンス資料の更新

2. 損保協会意見(抜粋)(詳細は添付1ご参照)

- FSBのKey Attributesの要請に即した改正を行うという趣旨には賛同する。しかし、破綻処理計画の策定においてプロポーシヨナリティを適用して対応すべきと考えており、破綻処理計画への対応によって実質的に意義のない過度なロードが発生することは回避していただきたい。
- 監督当局および破綻処理当局によって管轄区域の破綻処理態勢が整備されることを支持する。

当協会は、IAISにおける国際保険監督基準策定の議論に積極的に参加しており、今後も市中協議等に際して本邦業界の意見を表明していきます。

(※1) 包括的枠組み

保険セクターにおけるシステミックリスクの潜在的な集積の特定と削減を目的とした枠組み。監督者の要件(介入権限、危機管理グループ設置、破綻処理計画策定)や保険者の要件(流動性リスク・カウンターパーティーリスク管理の強化、再建計画策定等)、IAISによるグローバルな保険セクターのモニタリング活動(個社モニタリング、セクターワイドモニタリング)、IAISによる実施状況の評価などが定められている。

(※2) 保険基本原則(ICP)

保険セクターの健全性を促進し、適切に保険契約者を保護するために必要な保険監督にあたっての基本原則などを定めた、IAISの監督文書であり、あらゆる保険グループおよび保険会社を対象としている。

(※3) 国際的に活動する保険グループの監督のための共通の枠組み(ComFrame)

ICPの内容を拡張して、定性的・定量的な観点から、国際的に活動する保険グループ(IAIGs)に対する追加的な監督要件等を示す枠組み。

番号	損保協会意見（和文）		損保協会意見（英文）
ICP12（市場からの退場および破綻処理）			
1	ICP12 および関連コムフレーム基準の変更案に関する全般的コメント	FSB の Key Attributes の要請に即した改正を行うという趣旨には賛同する。しかし、破綻処理計画の策定においてプロポーショナリティを適用して対応すべきと考えており、破綻処理計画への対応によって実質的に意義のない過度なロードが発生することは回避していただきたい。	We agree with the intent of making amendments in line with the FSB's Key Attributes requirements. However, proportionality should be applied in the development of a resolution plan to avoid excessive loading that is not substantively meaningful.
2	ICP12.3、ICP16.15に関する質問：ICPs は効果的な保険監督のための最低要件を定めるものであり、比例的な方法で実施、適用されることが期待されている。すべての保険会社に対し、一定の再建・破綻処理計画要件を比例的に適用することに賛成するか。プロポーショナリティがどのように適用されるべきか、および／または、どのような場合にそのような計画が必要とみなされるべきか、説明と詳細を示されたい。IAIS は、ICP ガイダンスの最終版や支援文書（アプリケーションペーパー）において、このフィードバックを検討する可能性がある。	Recovery and resolution "planning" requirements がすべての保険会社に比例的に適用されることに異論はない。ただし、保険セクターではシステミックリスクが発現する可能性は相対的に低いことに鑑みて、保険会社の性質、規模、複雑性、ソルベンシー状況等を考慮して比例的に対応すべきだと考える。 なお、recovery and resolution "plan"の策定要件を含む監督措置の策定に際しては、各法域や保険会社の特性を十分に考慮する観点から、IAIS が要件を一律に定めることは適切ではない。	We agree with the proportionate application of recovery and resolution "planning" requirements for all insurers. However, given the relatively low likelihood of systemic risk arising from the insurance sector, a proportionate response should be taken, considering the insurer's nature, scale, complexity, and solvency position. It is not appropriate for the IAIS to uniformly prescribe requirements for the development of supervisory policy measures, including the requirement for the development of a recovery and/or resolution "plans" from the perspective of fully considering the characteristics of each jurisdiction and insurer.
3	CF12.4.aに関する質問：再建計画はすべての IAIG に要件となっている。破綻処理計画は、（IAIG として	すべての IAIG に対して破綻処理計画の策定を求める点について強く反対する。	We strongly oppose the requirement that imposes all IAIGs to develop a resolution plan.

<p>のステータスにかかわらず）破綻した場合、システム上重要またはクリティカルと評価される保険会社について、最低限策定するよう義務付けられている。IAIGの性質、規模、複雑性から、たとえシステム上重要であると評価されなくても、（監督当局や破綻処理当局が不要と判断しない限り）すべてのIAIGが破綻処理計画の要件に服すべきであるとの推定が成り立つ可能性がある。すべてのIAIGに対しても破綻処理計画の策定を求める要件または推定を導入する可能性について、賛成か反対か。意見を伺いたい。</p>	<p>破綻処理計画はシステミックリスクの発現の防止を主眼としていると理解しているところ、万が一破綻したとしても、金融安定に与える影響が限定的な保険会社について一律に破綻処理計画の策定要件を課すことは、明らかに政策目的を超えた措置である。</p> <p>仮に破綻処理計画の策定対象を広げる議論を行うとしても、その検討基準は「IAIGか否か」ではなく、「破綻の際の影響度合い」であるべきであり、根拠もなく全IAIGに対して計画の策定要件を課すことはナンセンスである。</p> <p>IAISが定めるべき要件としては、各国当局が、各保険会社の破綻の際の影響について検討するプロセスを有することを求めることまでであり、それを受けた政策措置についてIAISが要件を一律に定めることは、各法域や保険会社の特性を十分に考慮する観点から適切ではない。</p> <p>また、FSBが公表している"Key Attributes Assessment Methodology for the Insurance Sector"のEC 11.1では、すべてのG-SIIsおよび破綻した場合にシステム上重要またはクリティカルとなりうるその他の保険会社に対して、再建・破綻処理計画の策定を求めていると認識している。</p>	<p>We understand that the main purpose of the development of a resolution plan is to prevent the emergence of systemic risk. Imposing a uniform requirement to develop a resolution plan on insurers that, even if they were to fail, would have only a limited impact on financial stability, is clearly a measure that goes beyond the policy objective.</p> <p>Even if we were to discuss expanding the scope of the development of the resolution plan, the criteria should not be "whether or not the insurer is an IAIG", but rather "the degree of impact of the insurer's failure to the financial stability". Therefore, it would be inappropriate to groundlessly impose such a requirement on all IAIGs.</p> <p>The scope of the IAIS requirement should be limited to requiring jurisdictional authorities to have a process to consider the impact of each insurer's failure. From the perspective of fully taking into account the characteristics of each jurisdiction and insurer, it is not appropriate for the IAIS to uniformly prescribe requirements for policy measures of the development of a resolution plan.</p> <p>In addition, we understand that EC 11.1 of the FSB's "Key Attributes Assessment Methodology for the</p>
--	---	---

		<p>また、"2023 Resolution Report"に記載されているように、FSB は、G-SIIs の特定を中止したことから、破綻処理計画策定の対象となる保険会社リストを作成していると認識している。そのため、すべての IAIG に対して破綻処理計画の策定を求めることは FSB の動きとも整合していないと考える。</p> <p>なお、GFIA も 2024 年 1 月に"Insurance: a unique sector"と題した報告書を公表しており、保険セクターのシステミックリスクは銀行セクターよりも非常に小さく、一般に個々の保険会社が重大なシステミックリスクを引き起こすことはないとしている。</p>	<p>Insurance Sector" requires the development of recovery and resolution plans for all G-SIIs as well as other insurers that could be systemically significant or critical if they fail.</p> <p>We also recognize that, as stated in the "2023 Resolution Report", the FSB has discontinued the identification of G-SIIs and is instead developing a list of insurers who are subject to making a resolution plan. Therefore, we believe that requiring all IAIGs to develop a resolution plan is inconsistent with the FSB's consideration.</p> <p>The GFIA's report published in January 2024 titled "Insurance: a unique sector" also concluded that systemic risk in the insurance sector is much lower than in the banking sector, and individual insurers do not generally create material systemic risk.</p>
5	ICP ガイダンス 12.3.1 の変更案に関するコメント	<p>監督当局および破綻処理当局によって管轄区域の破綻処理態勢が整備されることを支持する。</p>	<p>We support that the supervisor and resolution authority have in place processes and procedures for resolution at the jurisdictional level.</p>
14	ICP12.4 の変更案に関するコメント	<p>破綻処理実行可能性評価を実施するにあたっては、監督当局と管轄内の保険会社との事前のコミュニケーションを行い内容・実施頻度等を決定することが重要と考える。保険会社からの情報提供を求める場合は、充分なリードタイムが確保される必要がある。</p>	<p>In conducting resolvability assessments, we believe it is important to determine content and frequency through prior communication between the supervisor and insurers within its jurisdiction.</p> <p>Sufficient lead time should be ensured when requesting information from insurers.</p>

		<p>質問番号 2 にも記載の通り resolution plan の策定要件を含む監督措置の策定に際しては、各法域や保険会社の特性を十分に考慮する観点から、IAIS が要件を一律に定めることは適切ではない。</p>	<p>As we have explained in our answer to Q2, from the perspective of fully considering the characteristics of each jurisdiction and insurer, it is inappropriate for the IAIS to uniformly prescribe requirements for the development of supervisory policy measures, including the requirement to develop a resolution plan.</p>
15	<p>ICP ガイダンス 12.4.1 の変更案に関するコメント</p>	<p>破綻の実現可能性も考慮の対象に含めるべきであり、2 ポツにその点を追記すべきである。具体的には以下の修正案を提案する。</p> <p>"the insurer's risk profile, solvency and risk management mechanisms"</p> <p>ICP ガイダンス 12.4.1 および 16.16.2 に、"The supervisor and/or resolution authority may also decide to require resolution plans for a minimum share of its insurance sector."とあるが、minimum share of its insurance sector の意味するところが理解できないため解説いただきたい。またこの文言を導入した背景があればご教示いただきたい。</p>	<p>The likelihood of an insurer's failure should be included in the factors to be considered. We suggest revising the second bullet point, as follows:</p> <p>"the insurer's risk profile, solvency and risk management mechanisms".</p> <p>While ICP Guidance 12.4.1 and 16.16.2 state "The supervisor and/or resolution authority may also decide to require resolution plans for a minimum share of its insurance sector", we would appreciate clarification on exactly what the "minimum share of its insurance sector" is. In addition, if there is any background behind the introduction of this phrase, we would appreciate your sharing it.</p>